

事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(令和元年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成28年)	1年後 (平成29年)	2年後 (平成30年)	3年後 (令和元年)	目標値 (令和元年)	達成率				計画時 (平成28年)	1年後 (平成29年)	2年後 (平成30年)	3年後 (令和元年)	目標値 (令和元年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
浜田市	T C 浜田農場株式会社	野菜 (トマト) 全出荷量に占めるA品 (秀品) 率を50%増加させる	(平成28年) 0.0%	(平成29年) 0.0%	(平成30年) 84.8% (全出荷量126tのうちA品秀品量106t)	(令和元年) 80.8% (全出荷量120tのうちA品秀品量97t)	(令和元年) 50.0% (全出荷量230tのうちA品秀品量115t)	161.5%	野菜 (トマト)	全出荷量に占める契約取引の割合を50%増加させる	(平成28年) 0.0%	(平成29年) 0.0%	(平成30年) 60.4% (全出荷量126tのうち契約取引量76t)	(令和元年) 80.8% (全出荷量120tのうち契約取引量97t)	(令和元年) 50.0% (全出荷量230tのうち契約取引量115t)	161.5%	全出荷量に占める契約取引の割合が80.8%増加した	生産技術高度化施設 低コスト耐候性ハウス ・18m×72m/棟 10棟 ・施設面積12,960㎡ ・養液栽培システム 一式 ・複合環境制御装置一式	442,800,000	196,650,000	0	0	246,150,000	秀品率及び契約取引の割合とも目標達成しているものの、全出荷量については、加温開始時期の遅れ等により、樹勢が低下したため単収が増加しなかった。今後は、各種要因を改善し、生産量増大に向け努めていく。	秀品率及び契約取引の割合とも目標を達成している。しかし、全出荷量の実績は計画を下回ったことから、加温時期の調整等による栽培技術の改善や、収量低下の要因であった水源を新たに確保する等の指導を行う。		

(注) 1 別紙様式 1 号の 2 の I に準じて作成すること。

2 要綱第 3 の 4 の (2) のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。

3 「事業実施主体の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、所見を記入すること。